

■つるワゴンで鶴ヶ島一周

多くの方からつるワゴンが様変わりしたことで意見をいただきました。そこで、つるワゴンとつるバスを乗り継いで鶴ヶ島一周してみることにしました。

若葉台第二住宅からスタートして鶴ヶ島駅へ、そこから乗り継ぎカインズホームで少し休憩。改めて市役所まで乗ってから、また乗り継ぎ一本松駅へ向かいました。最後に坂戸駅経由で池の台病院前で降りて、乗り継ぎ若葉駅西口に到着です。



■まちなか再生に1役

マイカーの普及と共にバス離れが進みましたが、乗り合わせが基本のコミュニティバスは日常の買い物・受診などに便利という見方から、人の集まるまちなづくりの取り組みとして注目されています。

複数の人が一度に移動する公共交通はエコでもあり、運転をしなくなった世代の方たちにとって、日常生活はもちろん公民館や様々な活動に参加して元気な毎日を過ごすためにも欠かせないものとなっています。



■ワゴンはサロン

ワゴンの中でのみなさんはとても楽しくおしゃべりしていました。

すぐ家の前の裏道を抜けていくのも大型バスではできない技です。90歳のご婦人が元気におでかけするのもこれなら苦にならないと感じました。

でも、実際乗ってみると行き先やルートの表示、乗り換えの案内など初めてみる人でもわかりやすくしてほしいと思いました。

つるワゴン 体験記

過日、栄小学校の児童引渡し訓練を見学させていただいた折、廊下につるワゴンを描いた作品がありました。

平成23年3月22日から運行が始まった鶴ヶ島のコミュニティバスつるワゴンは黄色やピンクの鮮やかな4色でよく目にとまります。

■利用者の意見を取り入れて常に見直しを

安心して住み続けられる場所、訪れたいくなる場所として選ばれるまちなかにしていくためにも、乗継ぎの時間、乗りきれない場合、危険な処がないかなど常に見直しをしていく必要があります。乗

車料が高く利用する人が少ないのでは意味がありません。

大勢の利用があれば、さらに便利にできるでしょう。

京都や金沢のように「一日乗り放題乗車券」

などがあれば、農業交流センターや雷電池、カインズホームに若葉ウオークと、まちをぐるりと回って、きつと、もっと鶴ヶ島が好きになるのではと感じました。



(9/30曇り)

いんぷおめーしょん

・茶ティ☆タイム

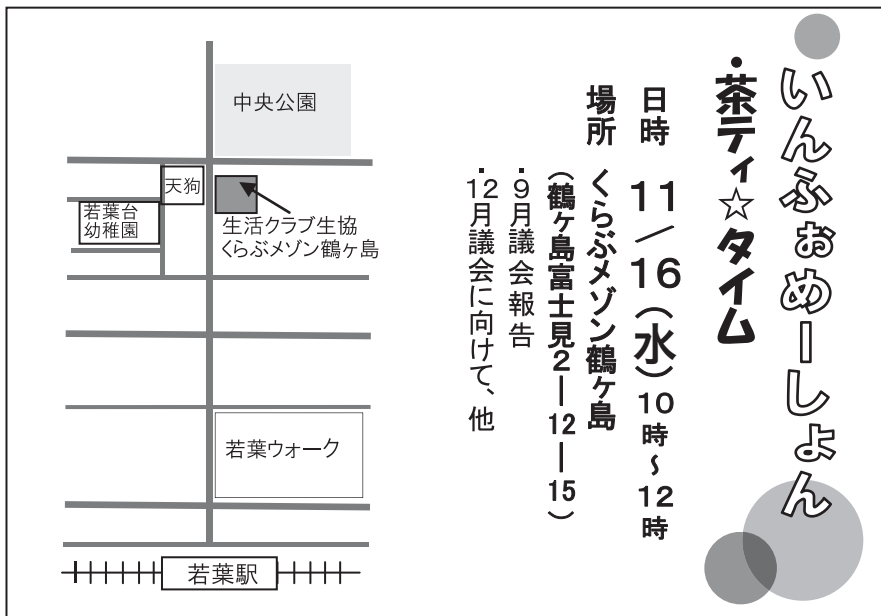
日時 11/16(水) 10時~12時

場所 くらぶメゾン鶴ヶ島

(鶴ヶ島富士見2-12-15)

・9月議会報告

・12月議会に向けて、他



●市民ネットワーク鶴ヶ島3つのルール

1. 議員代理人はローテーション
2. 議員報酬は市民の政治活動に活用します
3. 選挙はカンパとボランティアで行います